いきいきふるさと
発行／古里住民自治協議会　発行者／金子祐三　編集／広報委員会　第63号

令和2年度古里地区「ながの未来トーク」－長野市に聞く－

今年度の古里地区「ながの未来トーク」は、新型コロナウイルス感染防止のため会場人員制限のなかで各区の区長他関係者の参加により、10月17日に古里総合市民センターで開催し、長野市からは市長及び関係部長他の出席をいただきました。

トークテーマ：「安心・安全で活力ある豊かな地域づくりを目指して」

- 昨年10月の台風19号の水害を教訓に、自然災害への対応について地域が一体となり災害に負けない地域づくりについて
- 地域住民の長年の念願であった北部幹線の開通に伴う地域の活性化及び周辺道路状況の急激な変化に伴う日常生活での安全対策について

として、市との意見交換・提案を行ないました。

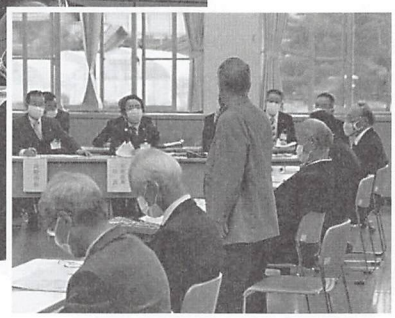
議題1：古里地区の防災対策〔2019台風19号災害関連等〕として

- 災害関連情報等の提供
- 長野市民病院周辺の道路環境整備
- 浅川系の用排水路等の内水対策
- 避難所開設における初期地元対応について

議題2：古里地区の道路対策〔北部幹線開通に伴う課題等〕として

- 北部幹線の開通に伴う周辺道路対策で県道との交差点渋滞
- 先線早期事業着工
- 浅川左岸道路の建設計画、北部幹線沿線の活性化及び三才・南郷連絡道路の建設計画について

これら議題について、区長及び関係者から質問・提案を行ないました。



※古里地区「ながの未来トーク」の詳細な内容は今年度中に長野市のホームページに掲載されます。

市長からは総括として、台風19号の影響で千曲川堤防破堤により大きな被害を受けたが、浅川の氾濫が重要な課題で、調整池の整備なども含め全体的な流量抑制を考えていきたい。道路関係では、来春までに北部幹線・高田若槻線・東外環状線が開通する中でどのような状況が発生するかを含め対応してまいりたいとの言葉もいただき、有意義な古里地区「ながの未来トーク」となりました。

令和2年度 防災講演会

10月24日(土)に、市政出前講座で、長野市危機管理防災課 防災対策官 吉原正夫様に「防災対策」のご講演をいただきました。吉原様は、令和元年東日本台風災害(台風19号関連の災害)の対応に ご尽力されておられます。

講演会では、まず、令和元年東日本台風の教訓についてお話がありました。特に長野市が行った住民アンケート調査で、「困ったこと等」では次の点が挙げられました。

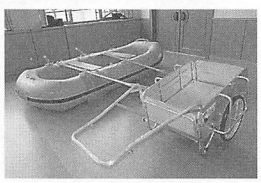
- 自宅の危険性がわからなかった
- 避難先を決めていなかった
- 避難のタイミングがわからなかった
- (避難時に)何を持っていけばよいかわからなかった

これに対応して、「避難行動確認シート」「命を守る事前対策」、「指定避難所」、「行政からの避難情報」、「非常持ち出し品等」などのお話がありました。

現在、古里住民自治協議会では、「安心・安全防災マップ」の見直しを行っていますが、この講演会は非常に有意義なお話がたくさんありました。

なお、今年はコロナ対策のため、受講者は区3役・防災委員・防災指導員等の方に絞り、44名の参加をいただきました。

令和元年10月台風19号災害 古里復興応援イベント開催される



古里住民自治協議会では、11月4日(水)、古里総合市民センター多目的ホールにおいて、令和元年台風19号災害に係る古里復興応援イベントを開催いたしました。

昨年10月の台風19号災害から1年余りが経過し、長野市では、復興・復旧の状況を発信し応援するため、令和2年度長野市復興記念事業として、最大の被災地長沼、豊野から始まるスタンプラリーや柳原総合市民センターでのドライブスルー物産展など各種の応援イベントを開催する中、古里地区では同事業の一環としてこのイベントを企画したものです。

なお、本来ならば、この日は、たくさんの古里地区の皆様にご来場いただき、災害惨禍に思いをはせ、復興・復旧の祈念と応援をお願いすべきところ、目下の新型コロナウイルス感染防止のため、参加者を各区の区長さんなどにとどめ、感染防止対策を講じての開催となったものです。

当日の会場は、センターロビーには災害発生時の状況や各避難所の様子など60枚の写真による12枚のパネル及び信州大学地域防災減災センター協力による2枚のパネルが展示され、会場ホール内には防災用備品として整備された6人用ゴムボートやアルミ製折たたみリヤカーが展示されました。

催しは午前10時に始まり、主催者挨拶、市長挨拶、来賓挨拶・紹介のあと、別掲セレモニー、アトラクションが行われました。主催者挨拶では、金子住自協会長が、地域の防災力の向上について、インフラ整備のみならず、お祭りやスポーツイベントを通じての人と人の絆が大切であることを述べ、市長挨拶では、樋口副市長が、災害時における市の姿勢と、これからの市の防災体制の整備について述べていただきました。

ふるさとの歌等の合唱では、ふるさとハーモニーの皆様が藤澤秀行様指揮により、「古里の歌」ほかを合唱いただき、古里への愛情込めた清らかな歌声に癒されました。

ピアノ演奏では、地元上駒沢のピアニスト金子由美子さん、今井みどりさんによる演奏に、途中、金子住自協会長も演奏に加わるサプライズもあり、力強い連弾の響きに場内感動いたしました。

最後は、小林下駒沢区長が、当時、被災地へ入った延べ500名に及ぶボランティアの方や赤十字奉仕団はじめ支援いただいた個人、団体すべての方へ謝意を述べるとともに、災害を乗り越え、安心安全な地域づくりの決意表明をして、閉会となりました。

セレモニー

①令和元年東日本台風災害に係る知事表彰受賞（古里住自協）披露
②各区へ配備する防災器具等備品の披露
　・救助艇ゴムボート（6人乗り）住自協へ配備
　・折たたみリヤカー（アルミ製）・情報収集用携帯ラジオ 各区へ配備
③やさしさとふれあいの集いに係る「年末慰問品」（民生児童委員会）披露
④住自協「支援物資提供」（長野市より被災地区へ提供）披露
⑤「被災地の復旧・復興状況と被災地からの感謝の気持ち」動画配信
⑥その他長野市長表彰受賞（北部幹線建設協議会会長（花岡孝雄氏））披露

アトラクション

①ふるさとの歌等合唱
　・古里の歌・ふるさとは今もかわらず・赤とんぼ
②ピアノ演奏（連弾）
　・村祭り・シングシングシング・パッヘルベルのカノン
　・ベートーベン交響曲第九番より

※災害状況・避難所等パネル展示は10月19日から11月30日まで。
　併せて古里地区の被災から1年間のDVDも放映されました。

【住宅被害】※り災証明書交付件数

（令和2年2月29日時点）

		長沼	豊野	古里
全壊		560	474	0
大規模半壊		78	172	35
半壊		172	133	56
一部損壊		63	136	91
計		873	915	182
参考	床上浸水	820	857	94
	床下浸水	53	59	87
	浸水以外	0	1	0

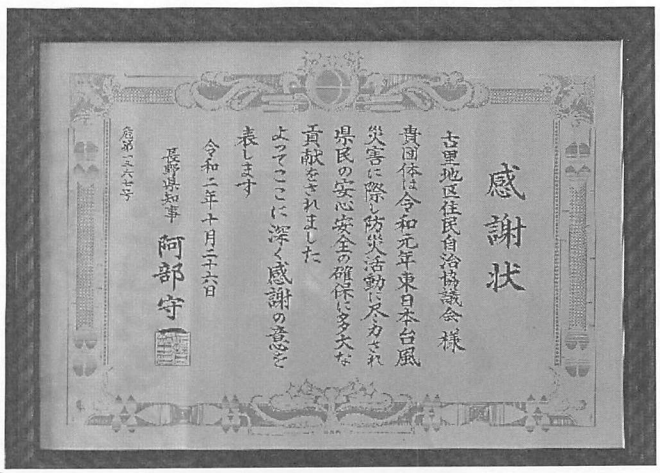
【浸水面積】

長沼・古里・豊野	934ha

※長野市災害復興計画（令和2年4月）より

台風19号災害対応に係る知事表彰について

この度古里住民自治協議会は、令和元年台風19号災害対応に対し組織的な活動を行ない地域被害の拡大防止に努めたとして、長野県知事表彰を受賞いたしました。去る10月26日（月）にホテル国際21に於いて阿部知事から直接授与して頂きました。今回の受賞は被災された方々の的確な判断と行動により、安全に避難していただいたこと、古里地区住民の皆様、多くの各種役員の方々、ボランティアの方々、関係者の皆様のご支援とご協力を頂けたからこその受賞だと思っています。心から感謝申し上げます。


感謝状

古里地区住民自治協議会 様

貴団体は令和元年東日本台風災害に際し防災活動に尽力され県民の安心安全の確保に多大な貢献をされました
よってここに深く感謝の意を表します

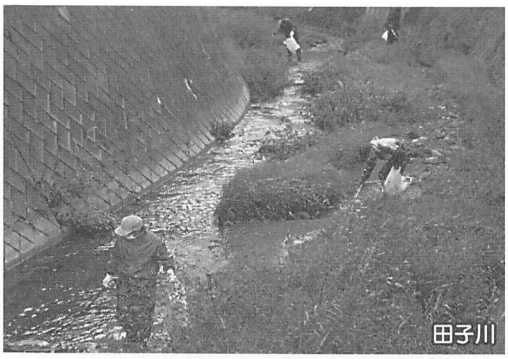
令和二年十月二十六日

長野県知事 阿部守

秋のごみゼロ運動・河川一斉清掃を実施

白山堰

各区の環境整美委員会では、ごみの無い綺麗な環境をつくるために毎年、春と秋の二回『ごみゼロ運動・河川一斉清掃の日』を設けて、古里地区の環境美化活動の取り組みを行っております。特に今年は新型コロナウイルスの影響もあり、春のごみゼロは、自粛を余儀なくされ、河川清掃に限り、感染対策を講じた上で規模を縮小して実施したところがほとんどでした。そんな折、秋のごみゼロは10月11日の日曜日に地区の大半が実施できました。無風で作業には快適な天候でしたので、近隣の一級河川やそこに流れ込む支流、そして稲作にとって重要な灌漑用水の今現在の環境を改めて見つめなおす機会となりました。


田子川

「古里かるた」の読み札にも『浅川は 昔天井 今親水』、『鴨親子 白山堰の藻に遊ぶ』『春は 桜並木の 駒沢川』、『目に清か ホタル飛び交う 初夏の田子川』とあるように私たち一人一人が、郷土の環境保全に興味・関心を持ちその実現に向けた行動が期待されています。参加人数、取扱物量は、次のとおりです。当日作業に参加されたすべての皆さんご苦労さまでした。

地　区	実施日	参加延人数	可燃	不燃	枝葉
古里全域	9/13~11/1	833人	496kg	220kg	317袋

駒沢第二団地仮設住宅植彩事業（2回目）

1回目（7月16日）では、仮設住宅の談話室周辺で、プランター10基に6種類の苗を植込み、トレーラーハウス入り口などに飾りましたが、10月29日（木）に行なわれた第2回目では、葉ぼたんなど秋からの苗を入れ替えて植え込みました。第1回目の植栽から水やり等日頃の管理をいただきました皆さんに感謝申し上げます。

当日は、入居されている皆さんやボランティアの皆さんで植栽をおこないました。

参加者の交流やふれあいの場として大いに盛り上がりました。これから冬に向かいますが、引き続き管理もよろしくお願いいたします。

長野市の「復興支援事業」として仮設住宅の皆さんを中心に参加をいただき、地元第二団地区、植栽ボランティア団体、障害者支援施設の皆さんや長野市支え合いセンターのご協力に感謝申し上げます。

お 知 ら せ

三才駅キャラクターのサイまるが、この夏開催の「長野県ご当地キャラ名鑑応援投票」で457票を獲得し、ふるさとキャラクター1位となりました。開催がない昨年を除き、平成29年から3度目のエントリーで初の栄冠です。皆様の応援に感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、駅でのサイまるふれあい活動が思うようにできませんが、お子様の三才記念で来場される皆様を歓迎すると共に日常の交通手段として、これまで以上に三才駅の利用促進を図ってまいります。

コロナウイルスに負けず
よい新年をお迎えください。